

小学校4年生「特色ある地域の様子」に関する小学校社会科学習の工夫 ～呉市川尻町の筆づくりを事例に～



広島県内のどの市町を取り上げて、社会科の学習を進めていけばいいのでしょうか？

小学校第4学年の「県内の特色ある地域」では、県内の地域として、
①「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域」
②「国際交流に取り組んでいる地域」
③「地域の資源を保護・活用している地域」を扱うことになっています。
今回は①に焦点をあて、「呉市川尻町の筆づくり」の学習を紹介します。



【単元名】県内の特色ある地域の様子 —伝統的な技術を生かす呉市川尻町の筆づくり—

目指す姿（イメージ）

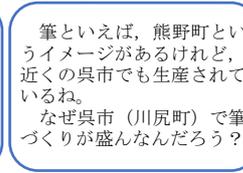
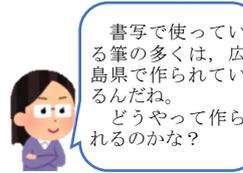
知識・技能	・特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解している。 ・地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめている。
思考・判断・表現	・特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・特色ある地域について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

課題の設定

児童の実態を把握し、興味関心等から、課題意識をもたせる。

広島県には、古くから受け継がれている工芸品がどのくらいあるのだろうか。

○広島県の伝統工芸品やそれらをつくるのが盛んな地域を調べる。
○筆が盛んに作られている呉市（川尻町）に着目し、疑問に思ったことを話し合う。



広島県ホームページより
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/denntoutekikougueihin/>

学校で

【学習課題】呉市（川尻町）では、いつから、どのようにして川尻筆が作られ、なぜ受けつがれてきたのだろうか。

対策 家庭学習に取り組めるよう、児童に学習の見通しを示すことが大切です。

情報の収集

必要な情報を取り出したり、収集したりする。

川尻筆のことにについて調べよう。

- 呉市川尻町で筆づくりが盛んになった理由を調べる。
- 川尻筆の作り方を調べる。
- 職人の数の変化を調べる。
- 職人の方の思いや願いを調べる。
- 新型コロナウイルス感染症による影響について調べる。



BUYひろしま「川尻筆」
<https://www.buyhiro.com/craft/kawajiri.html>
このページから、上の動画にリンクが貼られています。

ICTを活用して、自分で学習を進められるね！



お役立ちサイト

必見!
BUYひろしま 選ぶなら身近な良いもの ひろしま製品
BUYひろしまのHP
<https://www.buyhiro.com/>
広島県の伝統工芸品を紹介したページがあり、それぞれの職人の方へのインタビュー動画も閲覧できます！

家庭学習で

整理・分析

収集した情報を整理したり、分析したりして思考する。

「見方・考え方」を働かせる 「深い学び」のポイント

- ①産業の歴史的背景、人々の願いに着目して追究できるようにすること。
- ②人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係を関連付けて考えることができるようにする。

特色を捉えるために重要なことは、児童が「比較する」ことです。第3学年の学習において、児童がいかに自分の住む市町の様子を知っているかが、大きな鍵になります。

学校で

まとめ・表現

気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。

学習課題に対する自分の考えをまとめる。（めざす姿のイメージ）

川尻筆は、江戸時代末期から呉市川尻町で作られている。最初から最後までひとつの会社で製作され、大量生産はできず、職人の数は、60年前に比べ、約10分の1にまで減少している。しかし、今もその技術受けつがれている。伝統工芸品という高級なイメージではなく、安く使いやすい筆を開発したいという職人の思いから、新しい筆が開発されている。これまでの川尻筆の技術をそのまま受け継ぐのではなく、さらに発展させて次の代につなげようとしている。
今のことだけでなく、昔のことを調べることで、なぜ伝統が受けつがれているのか少し分かった。



特色ある地域を選ぶ際には、県内から幅広く地域を選択することが大切です。
広島県立教育センターでは、県内のたくさんの社会科の副読本等を収集し、保管しています。先生方の教材研究に御活用いただけます。是非、広島県立教育センター（教科教育部）までお問い合わせください。

